

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
1-(1) 人材の育成	①文化芸術活動を行う者の育成	・瓦町アートステーション自主事業 【1-(1)-③、1-(2)-③に再掲】 アートディレクター事業の趣旨を継承し、創造的人材の育成とネットワーク化に取り組む。瓦町アートステーションを拠点にワークショップの開発・ファシリテーターの育成等、創出型の事業を展開する。	文化芸術振興課	継続	798	798	継続	1,167	高松市瓦町アートステーションを拠点とし、アートを軸とした創造的ワークショップを開発・実践することで、人材の育成とネットワークづくりを目指す。また、子ども向けの舞台制作ワークショップ及び外部講師による情報交換会も行う。	ワークショップ事業は1回当たりの参加者数を多くできないため、にぎわい創出とは異なる視点で成果を検証していく必要がある。	ワークショップ参加者を対象に、参加理由や感想、今後実施してほしい企画などを盛り込んだアンケートを実施し、今後のワークショップ開発に反映させる。
		・文化芸術ホール自主事業（演劇ワークショップ） 市内の中・高校生を中心とした演劇ワークショップの開催、四国学院大学が取り組んでいる演劇教育、演劇どっこむ、コミュニケーション教育の活用に取り組む。	文化芸術振興課	継続	-	-	継続	-	これまでに実施した「演劇どっこむ」等の事業の成果を踏まえ、今後の事業企画を検討する。	本事業の趣旨を継承する取組を検討する必要がある。	事業の内容等について事業者等と調整し、市民の方が魅力とを感じる企画・実行を目指す。
		・地域アーツカウンシルによる中間支援事業 高松市版文化芸術プラットフォーム内に設置される地域アーツカウンシルを中心に市民の文化芸術活動に関する相談や市内の文化芸術の実情のリサーチ、文化芸術活動に関する助成等を行うことで、あらゆる市民が文化芸術の担い手の主体となるよう、専門人材を活用した中間支援に取り組む。	文化芸術振興課	新規	-	-	新規	0	令和7年度の地域アーツカウンシル設置に向けて、高松市文化芸術財団とともに、プログラム・ディレクターの選任を行う。	文化芸術団体等が、アーツカウンシルやプログラム・ディレクターに対して求めるものを把握する必要がある。	文化芸術プレイヤーズ・プラットフォームにおいて、「文化芸術活動に関する現状と課題」及び「プログラム・ディレクター（アーツカウンシル事務局）に求める具体的な動き」についての意見交換を実施し、文化芸術団体からの御意見等を参考にしながら、高松市文化芸術財団とともにプログラム・ディレクターの選任を行う。
	②文化芸術を学ぶ機会の拡充	・香南歴史民俗郷土館事業（拓本と表装を楽しむ） 拓本と表装を楽しむ＝文学碑などを拓本にとり、軸装・額装して、拓本展に向けた作品作りを行う講座を実施する。	文化財課	継続	47	46	継続	56	文学碑などを拓本にとり、軸装・額装にして作品を制作する。（計7回開催予定）	講座内容の充実を図る上で、作業スペースのより有効な運用を工夫する。	各受講生の作業の進捗や習熟度に応じて、作業スペースや共用の用具などを臨機応変に利用できるように講師と連携しながらカリキュラムを工夫する。
		・香南歴史民俗郷土館事業（古文書を読む） 古文書「由佐家文書」を題材に取り上げ、参加者と一緒に解説する等して古文書に親しむ講座を実施する。	文化財課	継続	45	45	継続	54	郷土館資料（由佐家文書・丸岡家文書等）を題材に取り上げ、古文書を読み解く。（計7回開催予定）	講座は受講者のレベルに差があるため、原則、初心者向けの講座として広く古文書を学べる講座にする。	初回は館蔵資料の中から初心者も取りつきやすい教材（字体・内容など）を厳選し、受講者の関心を高めながら次第に習熟のレベルを向上できるような講座の進行に努めている。
		・香南歴史民俗郷土館事業（篆刻教室） 印材に文字や絵柄を刻んだ篆刻作品を制作する。	文化財課	継続	45	45	継続	54	石に絵や文字を彫って、篆刻作品を制作する。（計7回開催予定）	篆刻展を成果発表の場としているが、時間不足が危惧される。	講座の修了生で継続して活動している同好会と連携して、より深い学びや技術の習熟を目指す受講生のスキルアップを支援している。
・香南歴史民俗郷土館事業（歴史講座、一般向け講座） 各種の郷土館講座、企画展に関連した講座等を実施する。		文化財課	継続	108	62	継続	116	歴史講座、子ども講座（甲冑等の制作、書道教室）を開催する。	郷土の歴史や文化財に関する展示に合わせた講演会やイベントを開催する。子ども向けの郷土館講座も積極的に検討する。	資料館職員や博物館実習生が講師を務めることも講座を企画し、限られた予算の中ではあるが、講座回数・内容の拡充を図る。	
・香南歴史民俗郷土館事業（由佐城月釜茶会、古本まつり） 茶会では1月を除く毎月、月替わりの席主によるお茶席を開いている。 古本まつりでは、秋の読書週間にあわせて、市民の方から古本を集め、提供する場として毎年人気を博している。		文化財課	継続	0	0	継続	0	月代わりの席主によるお茶席を行う。 市民の方から寄せられた古本を無料提供する。	古本まつり後の残本処理及び事業継続について検討する必要がある。	市内文化施設では同様の催しはなく、家庭での不用本を提供したいという市民の欲求も高いため、開催の意義はあり、利用者も市内全域に及んでいる。 効果的にリユースされるために、保存状態不良品、雑誌週刊誌のほか、引き取りの少ない書種の受け入れの制限を検討している。	
・香南歴史民俗郷土館事業（常設展、企画展、共催展） 常設展では、香南町の歴史を古代から現代まで各資料等を展示し紹介している。企画展では、歴史展、郷土館講座の作品展、考古学速報展や季節にあわせた展示等を行っている。	文化財課	継続	475	472	継続	547	常設展のほか、特別企画展「日本刀展（仮）」・企画展・共催展を開催する。（計11展開催予定）	常設展示にある資料（航空写真等）の情報が古くなっているため、更新の必要がある。	展示資料の更新に向けた予算措置を検討するとともに、図表の表示範囲を南部三町に拡大する等、高松南部の資料館としての機能を果たすのにふさわしい展示内容への変更も検討する。		

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
1-(1) 人材の育成	②文化芸術を学ぶ機会の拡充	・讃岐国分寺跡資料館事業（常設展、企画展） 常設展では、発掘調査で出土した古代の瓦・土器類を展示、それに合わせて写真パネルやレプリカを使って解説を行うほか、アニメーションを取り入れた讃岐国分寺跡の歴史ビデオを放映するとともに、企画展は、古代讃岐国分寺との関連性のあるテーマで開催している。	文化財課	継続	203	203	継続	203	常設展のほか、高松市埋蔵文化財センター展「讃岐の古瓦-東讃編」等の企画展を開催する。（計3回開催予定）	来館者増加に向け、企画展においては国分寺との関連性を持たせながら古代史以外のテーマについても開催していく必要がある。	石をテーマとした展示内容を検討し、石の民俗資料館にも協力していただき充実を図る。
		・讃岐国分寺跡資料館事業（歴史講座） 歴史に関連する資料館講座等を実施し、教育普及活動の充実を図っている。	文化財課	継続	55	30	継続	47	古代史を中心とした講座を開催する。（計5回開催予定）	講座内容について、市民の関心が高いテーマにも視野を広げ内容の充実を図る。	参加者のニーズや県内の研究動向をふまえて講師の選定を行う。
		・石の民俗資料館事業（古文書講座） 実際の古文書を題材に取り上げ、講師を招いて古文書に親しんでもらう。	文化財課	継続	84	84	継続	46	江戸時代の古文書を読み解く。（10月中旬から空調設備改修工事による臨時休館のため、計6回開催予定）	古文書講座は毎年開催しているが、新たな受講者が増加するようカリキュラムを取り入れる等、講座内容の見直しを検討する必要がある。	初心者も参加しやすいよう第1回及び第2回講座は、簡易な古文書を取り上げ、基本的な読み解き方を学べるように講座の内容を見直す。
		・石の民俗資料館事業（常設展、企画展、ホール・共催展） 常設展では、石工達が醸成してきた知恵と技術を後世に継承することをメインテーマに、石の文化と歴史を映像とジオラマを使いわかりやすく紹介し、企画展は、地元作家や石彫作品などを中心に開催している。また、エントラスホールを利用したホール展や地域団体とともに共催展を開催している。	文化財課	継続	1,642	1,459	継続	794	常設展のほか、企画展「思可牟展」・共催展等を開催する。（10月中旬から空調設備改修工事による臨時休館のため、計7回開催予定）	来館者の増加に向け、企画展については、石彫作品はもとより、市民の関心がある美術・工芸を含め、様々なジャンルの展示を行うなど、工夫を凝らす必要がある。	展示に工夫を凝らし、広報の仕方についても検討する。
		・歴史資料館事業（常設展、企画展・収蔵品展、ロビー展） 常設展では、高松の原始から現代にいたるまでの歴史と文化の変遷を通観できるようにしている。企画展は、讃岐にゆかりが深い人物や出来事をテーマとした内容で開催している。また、エントラスホールを利用したロビー展を随時開催し、資料の展示・公開を行っている。	文化財課	継続	2,541	2,325	継続	2,608	常設展のほか、企画展「VIEW OF TAKAMATSU 遊覧案内図にみる近現代高松の風景（仮）」等の企画展・収蔵品展を開催する。（計4展開催予定）	来館者数増加に向けたさらなる広報活動、情報発信を検討する必要がある。	S N S等を利用した広報活動や情報発信を検討する。
		・歴史資料館事業（古文書講座） 実際の古文書を題材に取り上げ、講師を招いて古文書に親しんでもらう講座を実施する。	文化財課	継続	59	54	継続	60	地元の生活に密着したものを題材に取り上げ、古文書を読み解く。（計7回開催予定）	講師の高齢化に伴い、新たに講師を選定する必要があり、それに伴い、現行の古文書の題材も変更する可能性がある。	講師を変更し、講座内容や課題の見直しを行った。
		・菊池寛記念館事業（文芸講座（一般対象教育普及事業）） 菊池寛を顕彰するとともに、地域文芸の振興を図るため、郷土において活躍している方々等による文芸講座を開催する。	文化財課	継続	104	80	継続	104	郷土を中心に活躍の研究者を講師に招き講座を開催。6月開講、毎月1回、年10回開催予定。	参加者のニーズに合った講師の選定に取り組む必要がある。	メディア等による旬を意識したテーマ選定を行う。（今年度NHK大河ドラマを意識し、文芸講座において紫式部をテーマに選定した講座を実施）
		・菊池寛記念館事業（常設展・文学展（展覧会事業）） 市民の教養と市民文化の発展に寄与するため設置された菊池寛記念館の目的を達成するため、菊池寛に関する常設展や文学展を開催する。	文化財課	継続	3,284	3,284	継続	3,499	菊池寛に関する常設展の他、菊池寛と関わりのあった作家等のコレクション展を開催。また、菊池寛記念館第33回文学展を開催する。	常設展及び文学展等開催の広報活動を充実し、観覧者数の増加に取り組む必要がある。また、常設展示内容についてリニューアルを検討する必要がある。	若年層に親しみやすいテーマであれば、学校に対して積極的に広報する等、広報の活動対象を柔軟に選定する。また、資料館等、他の文化施設との連携企画を検討する。
		・生涯学習カレッジ 少子高齢化、情報化など現代的課題を取り上げる講座や大学等と連携した専門的な講座等を開催している。	生涯学習センター	継続	808	494	継続	702	引き続き、現代的課題を取り上げる講座を始め、香川大学等と連携した専門的な講座等を開催する。	講座内容の固定化打破	講座内容について、大学などと連携し、現代的課題を把握するなど、固定化しないように、適宜、見直しに取り組む。
・コミュニティセンター講座等 地域の特色ある学習活動を推進し、地域住民の多様化した学習要求に応えるため、各コミュニティセンターにおいて、コミュニティセンター講座等を開催している。これまでの取組に加え、地域での生涯学習の指導者（リーダー）を養成する講座を開催するなど、新たな参加者層をターゲットにした企画や催しなどを開催する際に有益な研修を実施予定。また、子ども向けの講座「まなびの場づくり」事業も実施している。	生涯学習センター	継続	17,677	16,815	継続	17,677	引き続き、各コミュニティセンターにおいて、コミュニティセンター講座を開催する。	受講者の固定化や高齢化への対応	多くのコミュニティセンターにおいて受講者の固定化や高齢化が進んでいるため、若年層が積極的に受講できる講座内容の見直しに取り組む。		

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
1-(1) 人材の育成	②文化芸術を学ぶ機会の拡充	・他団体との共催事業 関係機関等の活動の活性化を図るとともに、生涯学習の総合的目効果的な推進に努めるため、関係機関等と連携した講座を開催する。	生涯学習センター	継続	0	0	継続	0	引き続き、関係機関等と連携した講座を開催する。	講座内容の固定化打破	講座内容について、固定化しないよう、適宜、見直しに取り組む。
		・専門講座 大学等と連携して情報化や社会経済の進展に伴う新しい知識の習得を図るほか、より高度な学習機会を提供するため講座を開催している。今後も引き続き、大学・高校・専門機関等との連携を深め、より充実した講座の提供に努める。	生涯学習センター	継続	808	494	継続	702	引き続き、大学等と連携して情報化や社会経済の進展に伴う新しい知識の習得を図るほか、より高度な学習機会を提供するための講座を開催する。	講座内容の固定化打破	講座内容について、固定化しないよう、大学等との連携をより深め、さらに充実した講座の開催を検討する。
③文化芸術活動を支援する者の育成		・瓦町アートステーション自主事業 【1-(1)-①、1-(2)-③に再掲】 アートディレクター事業の趣旨を継承し、創造的人材の育成とネットワーク化に取り組む。瓦町アートステーションを拠点にワークショップの開発・ファシリテーターの育成等、創出型の事業を展開する。	文化芸術振興課	継続	798	798	継続	1,167	高松市瓦町アートステーションを拠点とし、アートを軸とした創造的ワークショップを開発・実践することで、人材の育成とネットワークづくりを目指す。また、子ども向けの舞台制作ワークショップ及び外部講師による情報交換会も行う。	ワークショップ事業は1回当たりの参加者数を多くできないため、にぎわい創出とは異なる視点で成果を検証していく必要がある。	ワークショップ参加者を対象に、参加理由や感想、今後実施してほしい企画などを盛り込んだアンケートを実施し、今後のワークショップ開発に反映させる。
		・文化芸術ホール自主事業（ホールボランティア募集） 文化芸術ホール（サンポートホール高松）の主催公演において、文化芸術に興味がある市民を対象に、来場者対応等のサポートをお願いしている。	文化芸術振興課	継続	0	0	継続	2,718	新規・継続ボランティアによる公演・広報のサポートをお願いする。	ボランティアの確保・育成と並行して、文化芸術に対する市民の理解と認識を深めるための各事業を継続していく必要がある。	ボランティア参加者の継続的な参加や応募を目指し、事業者と協議する。
		・讃岐国分寺跡資料館友の会事業 講演会、現地研修、友の会コンサート、ウォーキング、体験講座、史跡まつり関連事業等を実施している。平成30年度初めに「史跡讃岐国分寺跡史跡ガイドブック」を発行している。	文化財課	継続	5	0	継続	5	講演会、現地研修、体験講座、史跡まつり関連事業等を実施する。	活動内容が年々広がっているが、既存会員の高齢化が進んでおり、新規会員の増加に向けた取組が必要である。	講演会の内容や研修場所を見直し、周知方法（情報発信）の検討を行う。
		・石の民俗資料館友の会事業 現地研修、資料館コンサート、工作教室、ストーンハンティングを実施している。	文化財課	継続	3	4	継続	4	現地研修、工作教室、ストーンハンティング等を実施する。	原則として、毎月開催している工作教室の内容については、今後も創意工夫に努める必要がある。	工作教室の内容について、今年も見直しに努める。
		・歴史資料館事業（サポーター活動、古文書ボランティア活動） サポーター活動事業として、資料整理、ミュージアムトーク等を実施するほか、古文書ボランティア活動事業を実施している。	文化財課	継続	0	0	継続	0	資料館サポーターによる資料整理、ミュージアムトーク等を実施する。 古文書ボランティアによる収蔵資料解説を実施する。	サポーター及びボランティアの人数や活動内容を再検討する必要がある。	活動内容の見直しを行う。
		・人材育成関連事業 博物館学芸員実習生、大学生インターシップ、中学生職場体験、大学生ボランティアを受け入れるほか、美術館ボランティアciviの例会等は定期的に行い、人材育成を図っている。	美術館美術課	継続	13	11	継続	13	博物館学芸員実習生、大学生インターシップ、中学生職場体験、大学生ボランティアを受け入れるほか、美術館ボランティアciviの定例会等を通して、人材育成を図る。	なし	なし
		・市民参画促進事業（生涯学習コーディネーター養成講座等） 生涯学習関連施設において生涯学習を推進・援助するスタッフ（人材）を養成する講座を毎月開催。地域での生涯学習や講座の開催等に関する資質・能力の養成を図る。	生涯学習センター	継続	139	90	継続	139	引き続き、生涯学習関連施設において、生涯学習を推進・援助するスタッフを養成する講座を開催する。	地域の生涯学習推進	幅広い分野について資質・能力を向上させるため、引き続き、生涯学習関連施設において、生涯学習を推進・援助するスタッフを養成する講座を開催する。

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額 （千円）	R5決算額 （千円）	R6予定 （拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額 （千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
1-(1) 人材の育成	③文化芸術活動を支援する者の育成	・まなびCAN・子ども教室 小・中学生を対象とした講座をボランティアで開催する講師を公募し、生涯学習センターの施設を有効に活用して講座を開催する。	生涯学習センター	継続	0	0	継続	0	引き続き、ボランティアの講師による小・中学生を対象とした講座を開催する。	講座内容の固定化打破	講座内容について、固定化しないよう、新たなボランティア講師を発掘し、新たな講座の開催につなげる。
1-(2) 次代を担う子どもの育成	①子ども未来館の活用	・子ども未来館学習の実施 子ども未来館の施設を活用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの創造力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的に実施する。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内を含め、60校程度が参加している。また、子ども未来館学習用バス等の借上を行っている。	子ども未来館	継続	4,641	3,190	継続	4,821	高松市内の小学校4年生及び希望する中学校(受入れ可能範囲において、連携中枢都市圏内の小・中学校)を対象に、子ども未来館学習を実施する。	大規模校の受入れは、学習スケジュールが過密になること、また、バス配車について年度当初では準備できないことがあることから、受入れに当たっての定員や時期などのルールづくりを検討する必要がある。	大規模校の受入れについて、該当校と協議の上、2日に分けて受入れを行う。 また、受入れ時期を原則6月以降とすることでバスの配車についても問題なく受入れを行う。
		・子ども未来館公募等プログラム ・子ども未来館まつり ・子ども未来館遊び体験プログラム 子ども未来館での様々な体験を通して、子どもたちの夢を広げることが目的として、市民活動団体や大学等との連携を図るとともに、ノウハウを有する民間の運営への参画を促し、魅力ある事業を継続的に提供していけるよう取り組んでいる。	子ども未来館	継続	2,025	1,886	継続	2,025	遊び、体験等をコンセプトに、子ども・子育てに関する幅広いジャンルのプログラムを教育機関・市民活動団体等の協力を得ながら実施する。	来館者数増加に向けたさらなる広報活動、情報発信を検討する必要がある。	市内小学校にチラシ等を配布するとともに、ホームページやSNSを活用し、情報発信を行う。
		・子ども未来館体験教室等の開催 子どもの探究心を高める科学やアート体験プログラムを実施し、科学技術に対する興味や夢、想像力を育てている。	子ども未来館	継続	2,580	2,184	継続	2,580	子どもの探究心を高める科学やアート体験プログラムを定期的に実施する。	参加希望者が多いイベントに対して受入れできないケースがあるため、受入人数を増やす方策を検討する必要がある。	体験の内容について、随時参加可能な内容のプログラムを増やす。
		②高松市美術館の活用	・子どもアートスペースの活用 平成27年のリニューアルオープンにより新設された子どもアートスペースでは、誰でも気軽に参加できるプログラム「ふらっとアート」を用意し、未就学児にも楽しんでもらうと同時に、外部講師による就学前児童対象のワークショップ等を開催している。	美術館美術課	継続	196	195	継続	196	子どもアートスペースにおいて、「ふらっとアート」など、誰でも気軽に参加できる簡単な作品制作プログラムを提供する。また、未就学児から中学生までを対象に、外部講師によるワークショップ等を開催する。	なし
		・美術館学習の受入 ・アートで遊ぼう！（鑑賞プログラム）の充実 ・美術館ワークショップ ・美術館出前講座 小学生を対象とした美術館での鑑賞・施設学習の実施や、鑑賞教育の充実を図るため、作品をじっくり見るための鑑賞プログラム「アートで遊ぼう！」、その他ワークショップや出前講座に取り組んでいる。	美術館美術課	継続	763	689	継続	763	小学生を対象とした美術館での鑑賞・施設学習の実施や、鑑賞教育の充実を図るため、ワークショップや出前講座を開催する。	なし	なし
		・学校との連携プログラム事業 特別展関連イベントの際に学校との連携を進め、美術教諭はじめ生徒たちとも積極的に連携の輪を広げる。教育現場の立場からの批評・指導により子どもたちにより充実した「美術体験」となるようなプログラム作りを目指している。今後も、研修会の参加や学校との連携ワーキンググループ会を予定している。	美術館美術課	継続	0	0	継続	0	特別展関連イベントの機会を捉え、美術館の活用等について、美術教諭や生徒と意見交換を行うなど、学校との積極的な連携に取り組む。また、その中で得た教育現場の声を生かし、より充実した「美術体験」プログラムの作成に努める。	なし	なし
	③子どもの発達段階に応じた文化芸術との触れ合いの機会の創出	・芸術士派遣事業 市内の保育所・子ども園・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で子どもたちと絵画や造形などの様々な表現活動を実施する。	子ども保育教育課	継続	34,849	34,877	継続	34,877	市内の保育所・子ども園・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で子どもたちと絵画や造形などの様々な表現活動を実施する。	事業実施施設、児童、保護者等からの満足度は高いものの、この事業の効果を数値化することが困難である。	この事業の効果を数値化することが困難であるため、事業実施施設、児童、保護者等からの満足度アンケートを継続する。

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
1-(2) 次代を担う子どもの育成	③子どもの発達段階に応じた文化芸術との触れ合いの機会の創出	・瓦町アートステーション自主事業 【1-(1)-①、1-(1)-③に再掲】 アートディレクター事業の趣旨を継承し、創造的人材の育成とネットワーク化に取り組む。瓦町アートステーションを拠点にワークショップの開発・ファシリテーターの育成等、創出型の事業を展開する。	文化芸術振興課	継続	798	798	継続	1,167	高松市瓦町アートステーションを拠点とし、アートを軸とした創造的ワークショップを開発・実践することで、人材の育成とネットワークづくりを目指す。また、子ども向けの舞台制作ワークショップ及び外部講師による情報交換会も行う。	ワークショップ事業は1回当たりの参加者数を多くできないため、にぎわい創出とは異なる視点で成果を検証していく必要がある。	ワークショップ参加者を対象に、参加理由や感想、今後実施してほしい企画などを盛り込んだアンケートを実施し、今後のワークショップ開発に反映させる。
		・0才からのコンサート 瀬戸フィルハーモニー交響楽団へ事業委託を行い、乳幼児と（子育て中の）保護者が一緒に楽しめるクラシック・コンサート(妊婦を含む)を市内にて4公演実施。	文化芸術振興課	継続	1,000	1,000	継続	1,100	引き続き実施し、親子で一緒に楽しめるクラシック・コンサートの鑑賞の機会を提供し、乳幼児をもつ保護者や乳幼児に音楽に触れる機会を提供する。	今後の開催に当たっては、市民の利便性等も踏まえ、市内全域から様々な会場を検討する。	市内で応募数に応えられる施設の利用を検討する。
		・劇団四季ミュージカル「こころの劇場」 劇団四季が社会貢献事業として行っている「こころの劇場」を共催する。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏取組事業のひとつとして実施しており、市内及び周辺市町の小学6年生を招待し、劇団四季の無料公演を行う。	文化芸術振興課 学校教育課	新規	1,491	844	継続	1,617	高松市文化芸術財団及び高松市教育委員会と連携して、劇団四季の無料公演「こころの劇場」を実施予定。 ◆公演予定日：令和7年2月12日（水）～令和7年2月14日（金）の3日間で計5公演 ◆参加対象者：高松市、さぬき市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町及び附属高松小学校の小学校6年生と引率教員	劇団四季側の演出や希望等をヒアリングする他、会場周辺の環境等を考慮し、市教育委員会や会場管理者と連携して事故のない安全な公演の実施に向けて検討が必要。	・定期的な打合せ ・当日業務の見直し(スタッフ動員/配置等)
		・子どものための演劇教室 高松芸術文化市民協議会が実施する「子どものための演劇教室」に対して、補助金を交付。	文化芸術振興課	継続	258	258	継続	258	引き続き補助を行う。	本補助事業が単に実施するだけで終わらず、広がり・繋がりを生むものとなる必要がある。	補助金の交付のみにとどまらず、代表者等からの連絡・相談に対して細やかな情報提供・協力をを行う。
		・菊池寛記念館（朗読劇「菊池寛劇場」、読書感想文講座） 菊池寛の作品等を朗読劇や語りで公演を行う。また、読書感想文講座を開催し、市内小学生を対象に読書感想文の書き方を指導する。	文化財課	継続	52	52	継続	52	朗読劇「菊池寛劇場」では、主に菊池寛の作品を、朗読等で紹介する公演を行う。また、市内小学生を対象に菊池寛の作品を読み、その作品の読書感想文の書き方を指導する読書感想文講座を夏休み期間中2回開催する。	朗読劇等の広報活動を充実し、観覧者数増加に取り組む必要がある。	既存の催し物を広報の場として活用する、メディアに直接働きかける等、積極的に広報活動を行う。
		・ブックスタート事業 中央図書館が保健センターと連携し、4か月児相談を利用して、絵本の読み聞かせの効用について説明し、絵本を贈呈するほか、ブックスタートのフォローとして、乳幼児向けのブックリストの配付や、読み聞かせを行うなど、子育て支援と子どもの読書活動を推進する。	中央図書館	継続	1,920	1,920	継続	2,300	・令和6年度より、本事業内での読み聞かせを再開したことから、研修会及び意見交換会を定期開催し、ボランティアのフォローアップ他、市とボランティアの協働を図る。 ・対象者全員にサービスを届けられるよう、ボランティアとの連携を図る。	本事業に係るボランティアは、地区別での活動としているが、各地区の登録数に偏りがあるため調整及び新規募集等の必要がある。	・新規ボランティアの募集を積極的に行う。 ・ボランティアの登録数が少ない地区には、市職員が積極的に参加し、ボランティアと連携して子どもの読書活動の推進に取り組む。
		・子ども読書まつり事業 子どもに読書への動機づけを図るとともに、保護者の読書活動への認識を高めるため、読書週間にあわせて、多彩な児童行事や講演会などを行い、子ども読書活動を推進している。	中央図書館	継続	150	177	継続	149	読書週間にあわせて「第19回 高松市子ども読書まつり」を開催し、多彩な児童行事や講演会などを行う。	より幅広い世代に楽しんでいただくため、サンクリスタル高松の3館で連携し、魅力あるイベント等を準備する。 ・ボランティア団体との連携、協働が十分と言えない。	・サンクリスタル全体で統一感を持ってイベント開催できるよう、共通テーマを設ける。 ・協力団体との連携、協働を図るため、打ち合わせ等の内容を充実させる。

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
1-(2) 次代を担う子どもの育成	③子どもの発達段階に応じた文化芸術との触れ合いの機会の創出	・読書活動等推進事業 ボランティアによる「おはなし会」や、「よみきかせたい」r.による子どもおはなし会」など各種児童向け行事や、各種講座を開催している。	中央図書館	継続	372	310	継続	373	ボランティアや、よみきかせたいJ r.（学生ボランティア）によるおはなし会や季節ごとのイベントなど各種児童及び大人向け行事や各種講座を開催する。 ・図書館内のおはなし会だけでなく、近隣学校（県視覚支援学校、二番丁幼稚園等）へもおはなし会へ出向く。	・子ども向けのイベントが多いため、YA（中高生）世代の図書館利用に結び付きづらい。 ・“出張おはなし会”等の図書館サービスの周知が行き届いていない。	・J r. 同士の交流の場を増やす。 ・新規事業の開拓（大人向けのイベント等） ・J r. の主体性向上を図る。 ・他課との連携を図る。
	④学び舎に文化芸術を	・学校巡回芸術教室事業 毎年度、多彩なジャンルの文化芸術団体・アーティストが市内の希望校を訪問し、児童生徒が生徒の優良芸術を鑑賞・体験する機会を提供する。	文化芸術振興課	継続	4,200	4,200	継続	4,620	引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	各小中学校の希望が招聘アーティストやオーケストラ等の一部ジャンルに偏る傾向があるため、各校の意向調査を踏まえたメニューを提案するとともに、実施希望調査時に先生方の興味をひくような資料作成やPR方法の工夫を行う必要がある。	公演での先生方・児童・生徒の反応を基に来年度の演目を決定し、開催希望校を募る。希望校決定に向け、校種を跨いでも魅力を感じられる演目や、実施希望調査時に先生方の興味を引くことができるような資料作成・PRの仕方を考える。
		・学校巡回能楽教室事業 小中学校の児童生徒を対象に、生の古典芸能鑑賞機会を提供する。	文化芸術振興課	継続	1,677	1,677	継続	1,845	引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	学校巡回芸術教室の雅楽と合わせて、日本の伝統文化に触れる機会を創出しているが、各小中学校の希望が能楽に偏る傾向がある。実施希望調査時に先生方の興味をひくような資料作成やPR方法の工夫を行う必要がある。	公演での先生方・児童・生徒の反応を基に来年度の演目を決定し、開催希望校を募る。芸術教室に比べ、能楽教室は開催希望が少ない傾向があるため、先生方・児童・生徒が魅力を感じられるようなPRの仕方考える。
		・ものづくりふれあい教室事業 小中学校の児童生徒を対象に、手づくりでのづくりにチャレンジしながら、もの大切さを体験し、文化の創造に関心を深める機会を提供する。	文化芸術振興課	継続	480	480	継続	528	引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	メニュー内容の充実や実施数を確保するための人材を確保し、洋裁コースと和裁コースの希望に偏りが出ないような工夫を検討することが必要である。	開催希望校を募る際に、各コースの内容が具体的に分かるように工夫するなど、コースによって希望校数が偏らないよう検討する。
		・讃岐国分寺跡資料館事業（伝統文化子ども箏教室） 教育普及活動として、伝統文化子ども箏教室を開催している。	文化財課	継続	181	181	継続	173	邦楽（箏）をとおして、日本の伝統文化を学ぶ。（計20回開催予定） 史跡まつり等で実践発表を行う。	これまでの広報活動に加え、新たな周知方法を検討する必要がある。	効果的な周知方法について検討する。
		・サンクリスタル学習 市内の小中学生（高学年）を対象に歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館の3館による体験学習を実施している。	文化財課	継続	3,737	1,769	継続	3,401	市内の小中学生（高学年）を対象にサンクリスタル高松の体験学習を実施する。	午後からの学習について、現行の訪問先に限らず、多角的な視点から検討する必要がある。	午後からの学習内容について、検討する。
		・図書館を使った調べる学習コンクール事業 ・読書感想画事業 コンクールについては、図書館資料をはじめ様々な情報を活用した調べる学習を通じて、児童自らが考え、判断し、表現する力を育む。 読書画については、読書によって得た感動を絵画表現することを通して、幼児・児童の読解力、表現力を養うとともに、読書活動の推進を図る。	中央図書館	継続	101	71	継続	96	市内保育園（所）及び幼稚園、こども園並びに小・中学校と連携を図り、「図書館を使った調べる学習コンクール」及び「読書感想画」の作品募集を行い、「第19回 高松市子ども読書まつり」内にて優秀作品を表彰するとともに、全作品を展示する。	調べる学習コンクールについて、小学校の応募は多いものの、中学生の応募数が少ない。	・校長会等での資料配布 ・館内での作品巡回展等で魅力を伝える。 ・関連事業の充実 ・学校との連携、協力
	⑤文化部活動の地域移行	・文化部活動の地域移行 高松市地域部活動検討委員会での意見や国の動向、他市の事例を参考に、学校や地域の実情に応じた地域移行となるよう取組を進める。	学校教育課	新規	800	800	継続	800	・文化部活動の地域移行 高松市地域部活動検討委員会での意見や国の動向、他市の事例を参考に、学校や地域の実情に応じた地域移行となるよう取組を進める。	・担当する教員が、指導に係る専門性を十分に備えていない場合が多く、日常の指導や休日の活動に負担を感じている状況がある。 ・技能向上を目指す生徒の要望とそれを叶えるための指導者の専門性の確保や指導可能な地域の文化団体等が十分に整っていない状況がある。	・全国的に豊富な実績のある民間業者へ委託し、ノウハウを吸収しようと考えている。 ・民間業者による実証事業を検証することで、よりよい運営実施主体の在り方について検討する。

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針1 はぐくむ・いかす）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
1-(3) 顕彰及び奨励	①文化芸術活動の顕彰・奨励	・高松市文化奨励賞 本市における文化の振興に貢献し、将来において、さらにその活躍が期待される者を奨励することにより、本市の文化芸術の振興を図る。新人部門と顕彰部門の2部門で表彰を行っている。	文化芸術振興課	継続	585	564	継続	589	引き続き、顕彰部門と新人部門において表彰を行う。	賞の趣旨に合う水準の人材が推薦されるよう、また、両部門の推薦が活発になるよう、周知先・周知方法を検討する。	令和5年度から文化団体等に加えて、過去の受賞者にも推薦依頼を送付しており、今年度も引き続き行う。また、募集について広報やHPに掲載するほか、複数のSNSでも周知する。
		・文化奨励賞受賞者記念披露事業【2-(1)-①、3-(1)-①に再掲】 高松市文化奨励賞受賞者に発表の機会を提供し、その活動を応援するとともに、市民に対して文化芸術に触れる機会を提供する。	文化芸術振興課	継続	44	0	継続	193	両部門の受賞者及び歴代受賞者に高松市瓦町アトステーション等での成果発表の機会を提供する。受賞者のニーズを把握しながら、実施の時期や在り方を検討する。	受賞者のニーズに適した場の提供及び実施方法について、今後検討していく必要がある。	高松市文化奨励賞受賞者の集いと連携し、発表者の希望もお伺いした上で、活動分野に応じた成果発表会を開催する。
		・香川菊池寛賞 郷土が生んだ文壇の大御所「菊池寛」を顕彰する事業として、また、郷土文化・文学の向上を図るため、文芸作品を募集し、優秀な作品に香川菊池寛賞を贈呈する作品募集選奨事業。小説、随筆、戯曲（脚本）を対象とし、香川菊池寛賞1篇と奨励賞1篇が選ばれ、「文藝もず」に掲載している。	文化財課	継続	817	817	継続	817	菊池寛顕彰事業実行委員会との共催事業として、小説、随筆、戯曲（脚本）を対象とした文芸作品を募集し、香川菊池寛賞1篇と奨励賞1篇を選定し、賞を贈呈する。また、受賞作品は「文藝もず」に掲載する。	より多面的な視点により選考を実施し、優れた作品を発掘する。	若手又は女性の選考委員を委嘱する。
	②子どもを対象としたコンクール等の支援	・文化芸術ホール自主事業（香川ジュニア音楽コンクール・グランプリ大会共催） 幼児から高校生までを対象に、ピアノ・声楽・器楽などの音楽コンクール金賞受賞者によるグランプリ大会を香川音楽連盟との共催で開催する。	文化芸術振興課	継続	0	0	継続	0	共催事業として実施し、将来の香川の音楽文化を担う青少年の音楽力向上を図る。	令和6年度のリニューアルオープン後に再開予定としている。	事業者と事業の再開を検討する。
		・中山城山顕彰事業（城山顕彰会） 香南町の郷土の儒学者を顕彰する城山まつりの開催や香南小学校・中学校の児童・生徒に中山城山関連の作品（書画）の募集を行っている。	文化財課	継続	115	115	継続	115	郷土の儒学者「中山城山」を顕彰する共催展「城山まつり」の開催、各種行事を実施する。	郷土の偉人として「中山城山」の学習は郷土館事業の中でも重要であり、継続していく必要がある。	中山城山を身近に感じられるようなトピックスやコラム的情報をHPやパンフレットなどで随時発信するほか、城山のみならず彼が探求した古文辞学の高松での展開にも視点を広げて、藤澤東咳や藤川三溪などに関する情報発信の充実を図る。
		・菊池寛ジュニア賞 菊池寛を顕彰する事業として、市内小中学校の児童生徒を対象に文芸の向上を図る目的で創設された作品募集選奨事業。小中学校各部において、最優秀賞、優秀賞、寛学賞、優良賞を贈呈している。	文化財課	継続	277	277	継続	277	菊池寛顕彰会との共催事業として、市内小中学校の児童生徒を対象に文学作品を募集・選奨し、小中学校各部において、最優秀賞、優秀賞、寛学賞、優良賞を贈呈する。	応募者数を増やすなど事業継続につながる取組が必要である。	従前実施していなかった市内の私立校に対し、広報活動を実施・拡充する。

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針2 であう・ひろがる）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額 （千円）	R5決算額 （千円）	R6予定 （拡大・縮小・継 続・その他）	R6予算額 （千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
2-(1) 環境の整備	①活動の場、機 会の拡充	・文化奨励賞受賞者記念披露事業 【1-(3)-①、3-(1)-①に再掲】 高松市文化奨励賞受賞者に発表の機会を提供し、その活 動を応援するとともに、市民に対して文化芸術に触れる機会 を提供する。	文化芸術振興課	継続	44	0	継続	193	両部門の受賞者及び歴代受賞者に高松市瓦町アース テーション等での成果発表の機会を提供する。受賞者の ニーズを把握しながら、実施の時期や在り方を検討する。	受賞者のニーズに適した場の提供及び実施方法 について、今後検討していく必要がある。	高松市文化奨励賞受賞者の集いと連携し、発表 者の希望もお伺いした上で、活動分野に応じた成 果発表会を開催する。
		・生涯学習センター利用促進事業 生涯学習センターに親しんでもらうため、市民の参加しやすい 講座や集客を意識したイベント等を開催している。講座参加 者に対するアンケートや担当者の意見を基に、講座内容の検 証を行い、市民ニーズを的確に把握した上で、新しい講座の 企画や広報媒体の工夫を継続して実施していく。	生涯学習センター	継続	441	377	継続	441	引き続き、生涯学習センターに親しんでもらうため、市民の 教養や趣味等を向上させる講座やコンサート、映画上映等 を開催する。	講座内容の固定化打破	講座内容について、固定化しないように、アンケ ートなどによりニーズを把握し、適宜、講座内容の見 直しに取り組む。
		・学習成果発表の場事業 市民の知識や技術の成果を生涯学習の分野で役立てるた め、講座等の実施案を募集し、決定したものを生涯学習セン ターで開催する。	生涯学習センター	継続	0	0	継続	0	引き続き、市民の知識や技術の成果を生涯学習の分野で 役立てるため、講座等の実施案を募集し、決定したものを 生涯学習センターで開催する。	講座内容の固定化打破	講座内容について、固定化しないよう、新たな発 表者を発掘し、新たな講座の開催につなげる。
		・展示事業 市民から公募した作品等を公開展示するほか、コミュニティ センターでの各種講座・同好会活動における学習の成果（作 品）の発表の場を提供する。	生涯学習センター	継続	0	0	継続	0	引き続き、市民から応募した作品等を公開展示する場を提 供する。	展示に係る講座や作品の依頼先の固定化	毎年、展示に係る講座や作品の依頼先が固定化 されているため、新規の依頼先を開拓する。
②文化芸術ホ ール・美術館にお ける鑑賞の機会の充 実		・美術館におけるコレクション及び特別展等の充実 美術品の取得方針に基づき、計画的・系統的に美術品収集 を図り、コレクション展としてテーマを設けて紹介。また、企画展 では、様々なジャンルの美術を楽しんでもらうよう現代美術家 の個展やグループ展等を企画。	美術館美術課	継続	64,667	63,242	継続	78,632	美術品の取得方針に基づき、計画的・系統的に美術品収 集を図り、コレクション展としてテーマを設けて紹介。また、特 別展では、様々なジャンルの美術を楽しんでもらうよう現代 美術家の個展やグループ展等を企画・開催をする。	なし	なし
		・文化芸術ホール自主事業【2-(1)-⑤に再掲】 文化芸術ホールが実施する自主事業を通じて、本市の文化 芸術の振興・普及を図る。具体的には、市民が質の高い舞 台芸術に触れる機会を幅広く提供するために実施する招へい 公演等の主催事業、マスコミ・文化団体等との共催事業、友 の会組織・ホールボランティア組織等の市民参加組織の運営 事業、市民に対するホール事業の周知宣伝を図るための情 報誌等の発行及びホームページ運用事業を実施していく。	文化芸術振興課	継続	10,000	10,000	継続	25,000	サンポートホール高松で主催事業や、市民参加推進事業・ 広報事業を実施する。また、サンポートホール高松開館20 周年記念事業を実施する。	令和6年4月のリニューアルオープン後においても、 引き続き、市民がより質の高い舞台芸術等を鑑賞 することができる機会の充実に努める必要がある。	指定管理者と情報共有しながら、事業の情報等 について情報発信を行い、多くの市民の方が参加 いただけるような環境を整える。
③文化芸術を身 近なものへ		・まちなかパフォーマンス事業【3-(3)-③に再掲】 音楽やパフォーマンスなど文化芸術による交流を創出し、都市 ブランドを高め、人々の交流、まちの活性化を図る。 「ミュージックブルーフェス」、「フラストリート」、「街クラシックin高 松」、「サンポートオータムジャム」、「たかまつ大道芸フェスタ」を 実施。	文化芸術振興課	継続	9,000	9,000	継続	9,050	引き続き実施する方針。	実行委員会の構成団体の各負担金と事業規模 のバランスを考慮しつつ、協賛金収入の獲得を目 指し、安定的な事業運営を図る。 また、新香川県立体育館等の完成による、サン ポート高松エリアでの事業の連携や会場の確保を 検討する必要がある。	周辺施設の関係者や、他イベント運営者と情報 共有を行いながら、事業の連携や会場の確保を 行っていく。
		・ホスピタルアートの展開 デリバリーアーツ事業の一環で、高松市立みんなの病院に音 楽演奏を出前し、患者や家族が気軽に文化芸術に触れる機 会を提供する。また、アートの力を活かした快適な療養環境づ くりについて、他の公的病院の事例を研究し、有効な方策につ いて検討する。	文化芸術振興課 みんなの病院 事務局総務課	継続	—	—	継続	—	デリバリーアーツ事業による音楽演奏メニューのうち、2件をみ んなの病院に出前する予定としている。	美術系のホスピタルアートについては、近隣の医療 機関の事例等を踏まえ、導入の可能性を検討して いく。	事業委託先である文化芸術財団と連携のもと、 検討を重ねる。

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針2 であう・ひろがる）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
2-(1) 環境の整備	③文化芸術を身近なものへ	・高松市美術館サポートショップ事業 会期中の特別展のチケットの半券又は有効期間中の定期観覧券を参加店舗で提示すると割引などの特典を受けることができる。また、参加店舗に設置した割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度も実施。	美術館美術課	継続	78	0	継続	50	高松市中央商店街等周辺店舗との連携事業として、事業の参加店舗に設置した割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引となるなどの事業を実施する。また、参加店舗の一部において、会期中の特別展のチケットの半券又は有効期間中の定期観覧券を参加店舗で提示すると割引などの特典を受けるサービスを提供する。	なし	なし
		・ランチギャラリー事業【3-(3)-③に再掲】 高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松丸亀町商店街の「しごとプラザ」ショーウィンドーに開設中の「ランチギャラリー」において、年間を通して特別展等と連携するなど多彩な展示を行う。	美術館美術課	新規	0	0	継続	0	高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松丸亀町商店街の「しごとプラザ」ショーウィンドーに開設中の「ランチギャラリー」において、年間を通して特別展等と連携するなど多彩な展示を行う。	なし	なし
		・レンタサイクルのアート化 レンタサイクルの利用促進とイメージアップのため、26年度に公募によりレンタサイクルの新デザインを決定し、アート化に取り組んでいる。今後も引き続き、新デザインの塗装を順次行っていく予定。	交通政策課	継続	63,902	63,002	継続	66,234	引き続き、全国展開しているシステムを効果的に活用し、新規利用者の獲得に努めるとともに、車両50台のデザイン化を実施し、レンタサイクルのイメージアップに取り組む。	利用者が減少している中、車両のデザイン化とともに、新たなシステムの導入の効果をいかし、利用者の増加を図る必要がある。	今後も引き続き、車両のデザイン化を順次行っていくとともに、令和4年4月に運用を開始した新システムを生かした利用促進によって、利用者を増加させる。
		・移動図書館車の巡回事業 図書館から遠隔地にあり、図書館を利用しにくい市民の方を対象に、移動図書館車3台により、市内と「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏形成に係る連携協約」に基づき直島町のステーションを月1回巡回し、図書館サービスを提供する。	中央図書館	継続	202	192	継続	202	図書館から遠隔地にあり、図書館を利用しにくい市民の方を対象に、移動図書館車3台により、市内と「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏形成に係る連携協約」に基づき直島町2か所のステーションを月1回巡回し、図書館サービスを提供する。	利用者が減少している中、利用しやすい新たな巡回先の開拓やSNS等での巡回状況の周知などで、利用者の増加を図る必要がある。	利用者が減少している中で、利用しやすい巡回時間の見直しやSNS等での巡回状況の周知することにより、利用者の増加を図る。
④障がい者を始め、誰もが参加できる文化芸術活動の支援		・障がい者アートリンク事業 障がい福祉サービス事業所へアーティストを派遣し、絵画・音楽・ダンスの創作活動を行い、報告展を行う。	障がい福祉課	継続	10,000	10,000	継続	10,000	引き続き、芸術活動を通じて障がい者の感性・創造力を育み、障がい者の社会参加の促進を図る。	平成26年度からアーティストを派遣する障害福祉サービス事業所等を年々増やし令和5年度は16か所としたところである。今後とも、予算規模は維持しながら、活動内容の見直しなどを積極的に検討し、より費用対効果が高い事業とする。	今年度も、昨年度と同数の16か所で事業を実施しており、これ以上の事業所数の増加は難しいが、事業所の入れ替えや活動内容の見直しなどを積極的に検討し、より費用対効果が高い事業とする。
		・デリバリーアーツ事業 文化芸術ホールのアウトリーチ活動として、音楽・古典芸能等の公演を出前で開催し、地域の施設、老人福祉施設や障がい者施設等、市民の身近な場所において、文化芸術に触れる機会を提供する事業を実施する。	文化芸術振興課	継続	4,385	3,668	継続	4,642	引き続き実施する。広域連携中枢都市圏の取組みとしては、圏域内のさぬき市、東かがわ市、綾川町、土庄町において実施する。	利用団体・出演者に偏りが生じないよう、新たなメニューの実施や広報について工夫を重ねていく。	事業委託先である文化芸術財団と連携のもと、メニュー等の更新を行う。

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針2 であう・ひろがる）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
2-(1) 環境の整備	⑤市民文化の創造発信と多様な交流の拠点	・文化芸術ホール自主事業【2-(1)-②に再掲】 文化芸術ホールが実施する自主事業を通じて、本市の文化芸術の振興・普及を図る。具体的には、市民が質の高い舞台芸術に触れる機会を幅広く提供するために実施する招へい公演等の主催事業、マスコミ・文化団体等との共催事業、友の会組織・ホールボランティア組織等の市民参加組織の運営事業、市民に対するホール事業の周知宣伝を図るための情報誌等の発行及びホームページ運用事業を実施していく。	文化芸術振興課	継続	10,000	10,000	継続	25,000	サンポートホール高松で主催事業や、市民参加推進事業・広報事業を実施する。また、サンポートホール高松開館20周年記念事業を実施する。	令和6年4月のリニューアルオープン後においても、引き続き、市民がより質の高い舞台芸術等を鑑賞することができる機会の充実に努める必要がある。	指定管理者と情報共有しながら、事業の情報等について情報発信を行い、多くの市民の方が参加いただけるような環境を整える。
		・文化芸術振興事業【4-(1)-③に再掲】 高松市文化芸術財団に事業を委託し、市民文化祭の開催のほか、文化芸術の振興普及を図るアウトリーチ事業を実施する。（アーツフェスタたかまつ、学校巡回芸術教室、学校巡回音楽教室、デリバリーアーツ）	文化芸術振興課	継続	16,783	15,544	継続	18,280	文化芸術財団に4つの事業を委託し、幅広い層が文化芸術に触れる機会を創出する。 なお、アーツフェスタたかまつについては、令和6年度事業募集時点においてホールの改修に伴う開館見込み時期が不明確であったため、他の公共施設等も会場として実施する。	各事業の公演メニュー等について、市民がより参加したくなるものを検討する。	事業委託先である文化芸術財団と連携のもと、メニュー等の更新を行う。
		・高松国分寺ホール自主事業 本市西部地域の文化芸術の創造拠点である高松国分寺ホールの多様な自主事業を通じて、市民の創造的な文化芸術活動の推進と交流を図り、市民文化の発展の推進に努める。毎年、コンサート、文化講演会、アウトリーチ活動等、概ね10メニューで30～40事業程度を実施する。	文化芸術振興課	継続	1,900	1,900	継続	1,900	コンサート、文化講演会、アウトリーチ活動等、概ね10メニューで30～40事業程度を実施する方針。	将来的には、「音の祭り」事業との再編を検討する。	「音の祭り」事業との将来的な再編を検討しつつ、多種多様な事業を実施する。
		・高松市文化芸術ホールの機能向上 高松市文化芸術ホールは、市民文化の新たな創造と交流の拠点として、多様な文化・コンベンション機能を備え、広く親しまれている。市民文化の拠点としてより一層の機能向上を図るため、適宜、修繕・改修等を行う。	文化芸術振興課	新規	5,700	21,868	継続	5,035	修繕・改修が必要な部分について適宜対応する。	修繕・改修を要する部分について整理が必要である。	指定管理者と修繕箇所の洗い出しや緊急度の整理を行う。
		・美術館の機能向上 平成27年のリニューアルオープンにより新設された「こどもアートスペース」「美術図書コーナー」「カフェ」「情報提供コーナー」の充実及び展示機能を付加された「講堂」での展覧会等により、美術館としての機能・利用率の向上を図っている。	美術館美術課	継続	396	391	継続	396	「こどもアートスペース」「美術図書コーナー」「カフェ」「情報提供コーナー」の充実及び展示機能を付加された「講堂」での展覧会等により、美術館としての機能・利用率の向上を図る。	なし	なし
		・市美術館エントランスホールにおける作品展示 ・美術館と商店街との連携事業 ・館長講座開設 音楽コンサート公演、商店街と連携したワークショップ実施のほか、特別展において撮影可のスペースを設け、SNS等での発信を促すなど多様な層の来館に努めている。また、館長講座（前期・後期各5回）を開講し、市民等の知的欲求に応えている。	美術館美術課	継続	3,870	2,528	継続	3,603	音楽コンサート公演、商店街と連携したワークショップ実施のほか、特別展において撮影可のスペースを設け、SNS等での発信を促すなど多様な層の来館に努めている。また、館長講座（前期・後期各5回）を開講し、市民等の知的欲求に応えている。	なし	なし
		・市美術館エントランス活用事業（公募） 市美術館エントランスホールの活用を図り、来館者に気軽に文化芸術に触れてもらう環境を作るため、同ホールでコンサートやダンス等の公演を実施する団体を広く募集する。また、実施団体の発表の場としての活用にもつなげる。	美術館美術課	新規	0	0	継続	0	市美術館エントランスホールの活用を図り、来館者に気軽に文化芸術に触れてもらう環境を整備するため、同ホールでコンサートやダンス等の公演を実施する団体を広く公募し、団体の発表の場の提供とともにエントランスホールの活用につなげる。	なし	なし

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針2 であう・ひろがる）

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額 （千円）	R5決算額 （千円）	R6予定 （拡大・縮小・継 続・その他）	R6予算額 （千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
2-(1) 環境の整備	⑤市民文化の創造発信と多様な交流の拠点	・サンクリスタル高松リニューアル事業 老朽化が進む施設をリニューアルすることで、利用者の利便性の向上を図り、「市民に愛され地域に貢献するサンクリスタル高松」を目指す。	中央図書館	新規	16,433	0	継続	28,775	経年劣化による施設の老朽化、特に空調機器等の不調等、設備面の不具合が深刻となっており、今後も安心して利用してもらえる施設とする必要がある。また、「サンクリスタル高松リニューアル基本構想」に基づき、誰もが快適に利用しやすい、若い世代が利用したくなる、地域と密接なつながりを持つ「市民に役立つ愛され地域に貢献するサンクリスタル高松」を目指し、施設整備の実施設計業務を進める。	リニューアルには閉館を伴うため、実施設計の中でできるだけ閉館期間を短くできるように、整備内容を検討する必要がある。 そのほか、閉館中の図書館機能の継続や閉館後の諸室の使い方やレイアウトなどについても、協議する必要がある。	実施設計を完成に向け、業者と十分な協議を行うとともに、職員からの意見を聴取し、リニューアルオープンに向けた課題について決定検討する。
		・サンクリスタル高松リニューアル事業（菊池寛記念館） 老朽化した展示設備の更新や、新たな収蔵品を含めた展示へと変更するなど、より多くの人々に菊池寛及び文学の魅力を伝え、親しまれる施設へとリニューアルする。	文化財課	新規	0	0	継続	6,050	菊池寛記念館の展示リニューアルに係る実施設計について、事業者を決定し、その内容を具体化していく。	老朽化した展示設備の更新やスペースが飽和状態となっている芥川賞・直木賞等の展示方法の見直し、階段・エレベーターからのアプローチ改善等を行い、菊池寛の業績をより見やすくわかりやすくリニューアルする。	実施設計事業者を決定し、内容を綿密に協議していく。また、事務所移転・事業検討等、休館に向けた準備を進める。
		・サンクリスタル高松リニューアル事業（歴史資料館） 老朽化した展示設備の更新や、新しい歴史認識に基づいた展示へと変更するなど、郷土の歴史をより深く理解できる博物館施設へとリニューアルする。	文化財課	新規	0	0	継続	5,082	歴史資料館の展示リニューアルに係る実施設計について、事業者を決定し、その内容を具体化していく。	本市の歴史に関する情報を最新のものとするとともに、老朽化した機器類を整理し、来館者の理解を得やすいレイアウトに整えるリニューアルを行う。	実施設計事業者を決定し、内容を綿密に協議していく。また、事務所移転・事業検討等、休館に向けた準備を進める。
2-(2) 情報の収集及び発信	①多様・効果的な広報戦略	・瀬戸内国際芸術祭における情報発信 瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせ、本市観光サイト等を活用して、文化芸術イベントや市内の見どころ等を発信する。	文化芸術振興課	継続	0	0	継続	0	来年度、瀬戸内国際芸術祭2025の開催を迎えるに当たり、各種広報活動の実施等により、開催への機運醸成に努めるとともに、本市の魅力を発信する。	瀬戸内国際芸術祭の開催期間の情報発信の内容とその効果について検証し、今後の効果的な情報発信につなげる。	瀬戸内国際芸術祭2025の開催に向け、本市観光サイト「エクスペリエンス高松」の改修業務を検討する。また、本市内における回遊・滞在に繋がるような新たな特集記事の内容を検討する。
	②情報の蓄積と活用	・創造都市推進局公式SNSの活用 創造都市推進局の所属職員が、Facebook、ツイッター及びInstagramを活用し、創造都市の実現に向けた本市の各種取組等を世界に向けて発信することにより、本市の知名度向上を図るとともに、ソーシャルメディアの双方向性という利点を生かした参画型市政の実現、多くの人が情報を共有しながら更新するアーカイブづくりを目指す。	創造都市推進局各課	継続	0	0	継続	0	引き続き、各SNSを活用し、「創造都市・高松」の発信を行う。	SNS毎に情報が届く層が異なることを意識するなど、より効果的な情報発信となるよう工夫する必要がある。	総務省による調査結果を参考にするなど、各SNSの年代別利用率を把握し、対象に応じて使い分けながら情報発信を行う。
	・情報の活用に関する伴走的支援事業 高松版文化芸術プラットフォーム内に設置する地域アーツカウンシルを中心に情報を収集、蓄積し文化芸術団体に提供のみに留まらず、情報の活用までの中間支援を実施する。	文化芸術振興課	新規	—	—	新規	0	令和7年度の事業開始を目指し、プログラム・ディレクターの選任を行うなど、高松市文化芸術財団とともに地域アーツカウンシル設置の準備を行う。	文化芸術団体等が求めている情報を把握する必要がある。	文化芸術プレイヤーズ・プラットフォームにおいて、文化芸術団体等が必要としている情報について意見聴取の機会を設け、そこで挙がった意見等を参考にしながら地域アーツカウンシル設置の準備を進める。	
・高松アートポータル事業（仮称） オンライン上の申請フォームで市内の文化芸術団体から公演等の情報を広く収集し、高松市公式ホームページ上に掲載する。ホームページに掲載した情報を月に2回程度集約しSNS上で発信する。	文化芸術振興課	新規	—	—	新規	0	令和7年度の事業開始を目指し、申請フォームの設定やホームページの整備等、情報の収集及び発信に係る準備を進め、令和7年1月から試用期間を開始する。	情報を掲載する媒体の種類や、掲載する情報の内容、掲載方法等、情報発信の方向性を検討する必要がある。	文化芸術プレイヤーズ・プラットフォームにおいて、求めている情報や収集方法等について意見聴取の機会を設け、そこで挙がった意見等を参考にしながら情報発信の準備を進める。		

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針3 つなぐ・あむ）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組	
3-(1) 協働及び連携	①プラットフォームづくり	・高松版文化芸術プラットフォーム事業 文化芸術に関わる様々な分野の人材が気楽に集まり、共に知恵を出し合いながら、高松市の文化芸術を牽引していくような場（文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム）を創出するとともに、（公財）高松市文化芸術財団に地域アーツカウンシルとしての機能を付与し、地域アーツカウンシルを支援の中核とする、高松版文化芸術プラットフォームを構築することにより、アート・シティ高松の推進を図る。	文化芸術振興課	拡充	148	51	拡大	319	「文化芸術プレイヤーズプラットフォーム」を継続するとともに、令和7年度からの地域アーツカウンシル機能の設置に向け、専門人材の選定を行う。	「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」の活動を通じて、文化芸術関係者等の緩やかなネットワークを拡大していくとともに、地域アーツカウンシルの効果的な支援機能を備えた高松版文化芸術プラットフォームの完成に繋げていく必要がある。	文化芸術プレイヤーズ・プラットフォームにおいて、「高松版文化芸術プラットフォームの概要」や「今後のアーツカウンシル事務局設置のスケジュール」を再度説明し、高松市、高松市文化芸術財団及び各文化芸術団体等の認識をすり合わせる。	
		・文化奨励賞受賞者記念披露事業 【1-(3)-①、2-(1)-①に再掲】 高松市文化奨励賞受賞者に発表の機会を提供し、その活動を応援するとともに、市民に対して文化芸術に触れる機会を提供する。	文化芸術振興課	継続	44	0	継続	193	両部門の受賞者及び歴代受賞者に高松市瓦町アートステーション等での成果発表の機会を提供する。受賞者のニーズを把握しながら、実施の時期や在り方を検討する。	受賞者のニーズに適した場の提供及び実施方法について、今後検討していく必要がある。	高松市文化奨励賞受賞者の集いと連携し、発表者の希望もお伺いした上で、活動分野に応じた成果発表会を開催する。	
	②大学等との協働・連携	・高松市キャンパスメンバーズ制度 加入大学・短期大学・高等専門学校9校の学生が、市内7施設に無料で入園・観覧できる制度を運用することにより、学生が気軽に本市の観光施設や文化施設を訪れやすい環境を整える。	政策課	継続	172	90	継続	172	引き続き、制度に加入する大学・短期大学・高等専門学校9校の学生が、学生証等を提示すれば、無料又は割引料金で、市有文化施設や史跡高松城跡玉藻公園に入園・観覧できるものとする。	制度の更なる周知を行うことで、利用者数の増加を図り、文化的な学生生活の充実及び地域社会に関する学習の貢献に資するものとする。	制度に加入する大学・短期大学・高等専門学校に対して、制度周知の協力依頼を行うとともに、対象施設のHP等の利用案内においても、制度の周知を行う。	
		・大学と美術館の連携 特別展に合わせた地元大学生によるミニコンサート等の開催やインターンシップ生の受け入れを行う。	美術館美術課	新規	0	0	継続	0	特別展に合わせた地元大学生によるミニコンサート等の開催やインターンシップ生の受け入れを行う。	なし	なし	
	3-(2) 交流の促進	①アーティスト・イン・レジデンス事業を通じた地域交流	・高松アーティスト・イン・レジデンス事業 【3-(3)-③に再掲】 アーティストが地域に滞在しながら行う創作活動をサポートし、作品展開や発表を通じて、人の交流やまちのにぎわいに繋げる。瀬戸内国際芸術祭の開催年度を除き、3事業を実施予定としている。	文化芸術振興課	継続	3,313	3,027	継続	3,313	3事業を国内外より公募し、実施する。	作品制作・発表に係る会場を、アーティストで用意することを応募条件にしているが、実際に使用できる空き店舗等をアーティスト側で見つけることが困難な場合もあり、引き続き、情報提供やサポートに努める必要がある。	アーティスト側の希望を聞き取り、候補地について情報提供やサポートを行う。
			・大島アーティスト・イン・レジデンス事業 国立療養所大島青松園の施設等を活用し、県内外の小中学生が大島でサマーキャンプをしながらハンセン病の歴史を学ぶとともに、アーティストによる音楽、演劇、美術等のワークショップを実施する。	文化芸術振興課	継続	2,000	2,000	継続	2,000	引き続き、事業を継続し、ウェブ上で公開しているラジオ番組「大島アワー」を制作することにより、多くの人に大島や大島での活動について知ってもらい、来訪のきっかけを創出する。	大島青松園入所者等の意向に十分配慮した実施形態としていく。 また、より効果的な振興となるよう事業内容のブラッシュアップに努める。	大島青松園入所者の意向に十分配慮しながら、8/2～8/4の3日間で小・中学生の参加者を募り、サマースクールを実施する。大島振興につながるよう、サマースクールの内容をブラッシュアップした上でその様子を動画にし、YouTube上で公開する。
②国内外の姉妹都市等との交流		・姉妹・友好都市等との交流事業開催（国外） ・観光と物産展の開催及び出展（国内） ・金沢百万石まつり、ひこねの城まつり参加 ・香川県・石川県合同観光キャンペーン 市民の豊かな国際感覚の涵養を図るため、国外の姉妹・友好都市等との交流活動を推進するほか、特産品普及啓発・販路拡大を図るため、国内の親善都市・交流都市等関係機関と連携した各種物産展等に参加し、特産品振興に努めている。また、県と合同で観光キャンペーン行う等、誘客活動に取り組んでいる。	観光交流課 都市交流室	継続	20,784	12,178	継続	12,992	引き続き、国内外の姉妹・友好都市等との交流活動を推進する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた交流事業を再開させ、交流事業参加者数や観光と物産展参加者数を回復させる必要がある。	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、交流活動が徐々に再開しているが、対面での交流に加え、コロナ禍で新たに生まれたりモードでの交流なども活用することで、より効果的かつ効果的な交流を実施する。	

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針3 つなぐ・あむ）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
3-(2) 交流の促進	③文化観光の推進	・高松まちかど漫遊帖事業 歴史探訪のみならず、食・産業その他高松の隠れた観光資源を発掘し、市民が主体となり自らコースを作成。まち歩きガイドを実施しながら、高松の魅力を様々なジャンルで紹介し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	観光交流課	継続	1,849	1,849	継続	1,849	春編及び秋編のパンフレットを作成し、まち歩き事業を展開する。また、SNSやインターネット等を活用した情報発信も積極的に行う。	民間主導の運営への転換 ガイドブック以外の情報発信の更なる強化	自主運営への転換につながるための協議 SNSやホームページを活用し、今後さらにWEBによる情報発信を強化する。
3-(3) 文化芸術を生かしたまちづくりの推進	①高松国際ピアノコンクール及び同推進事業の展開	・高松国際ピアノコンクール及び同推進事業 高松から世界レベルの音楽を発信するとともに、地域の活性化、音楽芸術の振興、国際的な文化交流を図るため、4年に一度開催される高松国際ピアノコンクールの開催を支援することにより、市民が身近に国際的な音楽芸術に触れ、市民の芸術文化への関心を高めるとともに、中心市街地のにぎわいを創出する。また、推進事業として、学校訪問リサイタルや審査員によるマスタークラス、入賞者や審査員の演奏会等を行う。	文化芸術振興課	継続	2,800	2,800	継続	2,800	第6回高松国際ピアノコンクールの開催機運を高めるため、引き続き、推進事業を実施する。	本コンクールがより一層市民の間に定着するよう、次回開催に向けて機運を高めるための取組を含め継続的に実施する必要がある。	第6回高松国際ピアノコンクール開催に向け、以下に挙げる4つの推進事業を行う。 ・TIPC審査員、歴代優勝者による演奏会 ・TIPC審査員、歴代優勝者によるマスタークラス ・学校訪問リサイタル ・地元ピアノ講師企画の演奏会
	②瀬戸内国際芸術祭の推進	・瀬戸内国際芸術祭及び関連事業 文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けた瀬戸内国際芸術祭を、県、関係市町及び福武財団等で組織する実行委員会が中心となり、開催する。また、芸術祭の谷間期間には、作品の継続公開や芸術祭関連事業を実施する。	文化芸術振興課	継続	5,993	5,752	継続	50,773	引き続き、作品の継続公開等を実施するとともに、来年度開催予定の「瀬戸内国際芸術祭2025」に向け、必要な準備を進める。	会場となる地域及び実行委員会等と連携しながら、次期芸術祭開催に向けた取組を検討する必要がある。また、芸術祭の会期が大阪・関西万博と重なることから、その相乗効果を図る取組を検討するとともに、オーバーツーリズムへの対応等も検討する必要がある。	会場となる地域及び実行委員会等と連携しながら、次期芸術祭開催に向けた取組及び対策等を検討する。
		・かがわ・山なみ芸術祭 芸術を軸とした地域の活性化を図るため、県内在住のアーティストと国内外の優れたアーティストが連携し、現代美術作品の展示やワークショップを実施する。地域の歴史文化や風土を作品制作における重要なテーマとし、ここでしか見ることができないアートイベントを目指す。	文化芸術振興課	継続	0	0	継続	0	実施予定なし（瀬戸内国際芸術祭の開催年度のみ実施）	今後も多くの人が塩江町等山間地域を訪れるよう、実行委員会と連携しながら事業を推進する。	来年度「瀬戸内国際芸術祭2025」の開催が予定されているため、実行委員会と連携しながら、事業実施の詳細等の協議を進める。
	③まちなかにおける文化芸術の展開	・まちなかパフォーマンス事業【2-(1)-③に再掲】 音楽やパフォーマンスなど文化芸術による交流を創出し、都市ブランドを高め、人々の交流、まちの活性化を図る。「ミュージックブルーフェス」、「フラストリート」、「街クラシックin高松」、「サンポートオータムジャム」、「たかまつ大道芸フェスタ」を実施。	文化芸術振興課	継続	9,000	9,000	継続	9,050	引き続き実施する方針。	実行委員会の構成団体の各負担金と事業規模のバランスを考慮しつつ、協賛金収入の獲得を目指し、安定的な事業運営を図る。また、新香川県立体育館等の完成による、サンポート高松エリアでの事業の連携や会場の確保を検討する必要がある。	周辺施設の関係者や、他イベント運営者と情報共有を行いながら、事業の連携や会場の確保を行っていく。
		・ランチギャラリー事業【2-(1)-③に再掲】 高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松丸亀町商店街の「しごとプラザ」ショーウィンドーに開設中の「ランチギャラリー」において、年間を通して特別展等と連携するなど多彩な展示を行う。	美術館美術課	新規	0	0	継続	0	高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松丸亀町商店街の「しごとプラザ」ショーウィンドーに開設中の「ランチギャラリー」において、年間を通して特別展等と連携するなど多彩な展示を行う。	なし	なし
		・高松アーティスト・イン・レジデンス事業【3-(2)-①に再掲】 アーティストが地域に滞在しながら行う創作活動をサポートし、作品展開や発表を通じて、人の交流やまちのにぎわいに繋げる。瀬戸内国際芸術祭の開催年度を除き、3事業を実施予定としている。	文化芸術振興課	継続	3,313	3,027	継続	3,313	3事業を国内外より公募し、実施する。	作品制作・発表に係る会場を、アーティストで用意することを応募条件にしているが、実際に使用できる空き店舗等をアーティスト側で見つけることが困難な場合もあり、引き続き、情報提供やサポートに努める必要がある。	アーティスト側の希望を聞き取り、候補地について情報提供やサポートを行う。

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針4 つたえる・たのしむ）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
4-(1) 地域特有の文化の継承と創造	①文化財等の保存・活用と魅力の伝承	・「AR・VR高松城」事業 夜間に誘客イベントを行うことで、観光客の市内宿泊へ結びつくナイト観光イベント事業高松城跡（玉藻公園）や、現存しない天守などを仮想現実の世界で楽しむことができるAR・VRアプリ「バーチャル高松城」事業を実施する。	観光交流課	継続	540	540	継続	540	引き続き、AR・VRアプリ「バーチャル高松城」をインストールしたタブレット端末の貸出を行い、現存しない天守を仮想現実の世界で楽しんでいただく機会を提供する。	入園者数の増加、民間事業者と連携したナイト観光イベントの充実、ナイト観光イベント実施時の商店街や宿泊事業者との連携強化、タブレット貸出件数及びアプリダウンロード数の増加。	引き続き、AR・VRアプリ「バーチャル高松城」をインストールしたタブレット端末の貸出を行い、現存しない天守を仮想現実の世界で楽しんでいただく機会を提供する。タブレット貸出件数及びアプリダウンロード数の増加を図るために、指定管理者と効果的な対応を模索する。
		・高松城跡和船体験事業 ・高松城跡鉄砲隊演武事業 本市を代表する観光名所の一つである高松城跡（玉藻公園）活用し、活性化を図るとともに、本市の歴史や文化へ関心を高めることを目的としている。今後も、観光拠点としての知名度アップと観光客の増加を図る。	観光交流課	継続	3,618	3,618	継続	3,618	引き続き、和船「玉藻丸」で内堀を遊覧しながら堀を泳ぐ鯛等の海水魚へのエサやり体験を行う機会を提供する。	和船乗船者数の増加、鉄砲隊演武開催時の入園者数の増加、演武開催機会の確保、自主財源の確保。	引き続き、和船「玉藻丸」で内堀を遊覧しながら堀を泳ぐ鯛等の海水魚へのエサやり体験を行う機会を提供する。入園者数が増加することで乗船者数が増加すると期待できることから、観光サイト等で積極的な情報発信を行う。
		・文化財の保存・公開 除草・剪定、史跡の補修など、指定文化財の保存や、管理団体に対する補助等を行う。	文化財課	継続	18,947	18,320	継続	31,154	文化財の保存・公開（除草・剪定、所管の史跡における修繕、指定文化財の保存・管理団体に対する補助等）	文化財を後年へ保存・伝承していくための後継者育成と、保存・管理していくための経費として、市の予算のみならず文化財所有者（団体）の資金調達の確保が必要である。	文化財所有者（団体）へ独自の資金調達の確保を促していく。
		・都市景観の形成 高松市景観計画において景観形成重点地区に指定している各地区（栗林公園周辺地区、仏生山歴史街道地区、都市軸沿道（11・193号等）地区、屋島地区及び讃岐国分寺跡周辺地区）の特性に応じたきめ細やかな景観誘導を実施し、良好な景観形成を図っている。	都市計画課	継続	810	0	拡大	7,778	・景観形成重点地区において景観誘導を継続する。 ・サンポート高松周辺を取り巻く状況が変化しつつあることを踏まえ、同地区内において景観形成重点地区を指定することについての検討を開始する。	美しいまちづくり基本計画において景観モデル地区に指定しているサンポート高松周辺地区は、県立アリーナ、JR駅ビル、大学の移転などが進んでいることから、より魅力的なエリアしていくために景観形成重点地区への指定などを検討していく。	・景観形成重点地区において景観誘導を継続する。 ・サンポート高松周辺を取り巻く状況が変化していることを踏まえ、同地区内において景観形成重点地区を指定するなど、状況の変化に対応した景観計画の改定、及び同地区における夜間景観ガイドラインの策定に向けた検討を開始する。
		・学校運営協議会【4-(1)-③に再掲】 学校運営協議会との連携を深め、地域の人材を有効的に活用し、地域の文化や伝統などに触れることで、地域を愛する心情を培う。	学校教育課	継続	6,759	4,585	継続	6,300	学校運営協議会において、地域の人材を活用し、地域の文化や伝統などに触れることを通して地域を愛する心情を培うことをめざす教育活動を立案する。	地域人材の確保及び連携のための時間確保に困難を感じている学校がある。	学校運営協議会委員を学校行事等にお招きするなど、日ごろから学校と地域との関係づくりに努める。学校運営協議会の開催時期や開催時間帯を、委員の都合に合わせて柔軟に設定する。
		・学校教育推進事業【4-(1)-③に再掲】 総合的な学習の時間の学習を通して、地域の歴史、伝統、文化、自然などに触れ、学びを深めることで、地域の伝統や文化を大切にすることを育む。	学校教育課	継続	8,181	7,867	継続	8,021	総合的な学習の時間の学習を通して、地域の歴史、伝統、文化、自然などに触れ、学びを深めることで、地域の伝統や文化を大切にすることを育む。	講師となる地域人材の確保が困難な学校がある。	新たな学習素材を見出したり、学習活動の内容を見直したりして、持続可能な学習計画を立てる。
	②史跡高松城跡の整備と活用	・史跡高松城跡整備事業 史跡高松城跡の歴史的建造物の再現や耐震補強、修繕等の整備を計画的に行うとともに、文化財の公開活用を積極的に行うことで、地域の活性化につなげる取組を行う。	文化財課	継続	98,313	95,829	継続	130,993	披雲閣大書院の耐震補強工事を実施する。 桜御門復元に伴う内堀仮設ヤード撤去工事を実施する。 披雲閣庭園四阿改修工事を実施する。 三の丸便益施設改修工事を実施する。	文化財の保存を前提として、充実した活用が実施できるよう事業を推進する必要がある。	文化財の保存と活用が図れるよう、計画的に工事を実施する。

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針4 つたえる・たのしむ）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額（千円）	R5決算額（千円）	R6予定（拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額（千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
4-(1) 地域特有の文化の継承と創造	③地域の魅力を再発見し、郷土愛を醸成	・歴史・文化番組放送情報発信事業 市内に残る名所、旧跡、文化財などにスポットを当て、人・歴史・文化・四季折々の風物等について、郷土の歴史や伝統文化を紹介する番組を制作放送するほか、Facebook等のSNSを活用し、身近にある文化財や史跡等について、市民をはじめとする多くの人に情報を発信する。	広聴広報・シティプロモーション課	継続	2,515	2,510	縮小	1,479	高松市の歴史や文化を紹介する動画を制作する。 高松ムービーチャンネル（10分間 年5本製作）	身近な文化財や史跡をテーマにSNSによる情報発信を行い、市民のシビックプライドの醸成を推進する。	地域に残る史跡や文化、自然など、その地域が持っている価値や魅力を深掘り取材したものを、映像として市内外に広く発信することで、認知度の向上を図るとともに、市民が本市に愛着と誇りを持てるような動画制作を行う。
		・文化芸術振興事業【2-(1)-⑤に再掲】 高松市文化芸術財団に事業を委託し、市民文化祭の開催のほか、文化芸術の振興普及を図るアウトリーチ事業を実施する。（アーツフェスタたかまつ、学校巡回芸術教室、学校巡回能楽教室、デリバリーアーツ）	文化芸術振興課	継続	16,783	15,544	継続	18,280	文化芸術財団に4つの事業を委託し、幅広い層が文化芸術に触れる機会を創出する。 なお、アーツフェスタたかまつについては、令和6年度事業募集辞典においてホールの改修に伴う開館見込み時期が不明確であったため、他の公共的施設等も会場として実施する。	各事業の公演メニュー等について、市民がより参加したくなるものを検討する。	事業委託先である文化芸術財団と連携のもと、メニュー等の更新を行う。
		・讃岐国分寺跡資料館(史跡まつり) 国分寺が栄えた奈良時代の知識を深め、貴重な特別史跡を郷土の財産として住民の手で保護し、人的・文化的交流の拠点として啓蒙・啓発していく。	文化財課	継続	2,147	2,147	継続	2,147	国分寺が栄えた奈良時代の知識を深め、貴重な特別史跡を郷土の財産として市民の手で保護し、人的・文化的交流の拠点として啓蒙・啓発する。（11/3開催予定）	実行委員会の多くの役員が高齢化しており、後継者の育成が必要である。 また、年々同委員会予算が厳しくなっており、事業内容の見直しについては、役員会等で話し合い、検討を続けている。	実行委員会の役員改選があり、若干の若返りとなった。高齢化の問題や、後継者の育成、事業内容の見直しについては、役員会等で話し合い、検討を続けている。
		・讃岐国分寺跡資料館 （古代文化体験講座(ふるさと文化財探偵団)） 身近に残された歴史や文化等について学習及び体験を通して、歴史や文化財に関心を持ち郷土を愛する心を育む。	文化財課	継続	107	105	継続	107	古代体験学習を通して、歴史や文化を学ぶ。（計8回開催予定）	他館と事業が重複しないよう実施時期等の調整が必要である。	例年の実施時期をふまえて、日程を固定化し、他館と連絡を密にする。
		・菊池寛顕彰会事業 郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰することにより、郷土の文芸の振興、文化の向上に寄与する事業に取り組む。	文化財課	継続	277	277	継続	277	菊池寛顕彰会への補助を通して、郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰し、郷土の文芸の振興、文化の向上に寄与する事業を促進する。	「菊池寛ジュニア賞事業」等を継続するため、菊池寛顕彰会の組織の基盤強化を側面的に支援する必要がある。	関係者の負担軽減のため、組織の基盤強化を側面的に支援することに加え、事務手続きの簡略化等について助言を行う。
		・学校運営協議会【4-(1)-①に再掲】 学校運営協議会との連携を深め、地域の人材を有効的に活用し、地域の文化や伝統などに触れることで、地域を愛する心情を培う。	学校教育課	継続	6,759	4,585	継続	6,300	学校運営協議会において、地域の人材を活用し、地域の文化や伝統などに触れることを通じて地域を愛する心情を培うことをめざす教育活動を立案する。	地域人材の確保及び連携のための時間確保に困難を感じている学校がある。	学校運営協議会委員を学校行事等にお招きするなど、日ごろから学校と地域との関係づくりに努める。学校運営協議会の開催時期や開催時間帯を、委員の都合に合わせて柔軟に設定する。
		・学校教育推進事業【4-(1)-①に再掲】 総合的な学習の時間の学習を通して、地域の歴史、伝統、文化、自然などに触れ、学びを深めることで、地域の伝統や文化を大切にすることを育む。	学校教育課	継続	8,181	7,867	継続	8,021	総合的な学習の時間の学習を通して、地域の歴史、伝統、文化、自然などに触れ、学びを深めることで、地域の伝統や文化を大切にすることを育む。	講師となる地域人材の確保が困難な学校がある。	新たな学習素材を見出したり、学習活動の内容を見直したりして、持続可能な学習計画を立てる。
		・屋島活性化推進事業 屋島や牟礼・庵治などの周辺地域の歴史・文化、自然、景観などの特性を生かし、源平屋島地域の更なるにぎわい創出や環境整備を図る。	観光交流課 観光エリア振興室	新規	57,355	47,406	継続	92,967	源平屋島地域の活性化を推進するとともに、屋島山上の来訪者の満足度向上を図るため、受入環境の整備を行う。	源平屋島地域のさらなる賑わいの創出を図るとともに、来訪者の満足度向上のために受入環境の整備が必要である。屋島山上の最盛期において、屋島スカイウェイの渋滞や屋島山上観光駐車場の入庫待ち渋滞が生じている。	屋島山上への入込客数の増加を図るため、高松市屋島山上交流拠点施設の指定管理者と連携し、賑わいを創出する。源平屋島地域活性化事業補助金により、源平屋島地域の活性化の推進を図る。屋島山上観光駐車場公衆便所の改修等の受入環境整備や、屋島山上へのアクセス課題に対応するための基礎的調査や資料整理を行う。

第3期高松市文化芸術振興計画の具体的取組（方針4 つたえる・たのしむ）

資料①

基本的施策	具体的取組	個別の取組（概要）	主な関係課	前計画との関係	R5予算額 （千円）	R5決算額 （千円）	R6予定 （拡大・縮小・継続・その他）	R6予算額 （千円）	R6実施内容（予定）	今後の課題	課題解決に向けた今年度の取組
4-(1) 地域特有の文化の継承と創造	④伝統の技の継承と発展	・AJIPROJECT 地元の石材事業者の加工技術を活用して、暮らしに寄り添う庵治石商品の開発・販路開拓に取り組む。また、石材産地である強みを生かし、地域資源である「庵治石」を素材として、消費者の日常生活に「付加価値」を与える新商品の開発に取り組み、石材産地としてのブランドの再構築を行うことで、地場産業の振興を図る。高松市牟礼庵治商工会が事務局となり、各事業者と協力して実施している。	産業振興課	継続	0	0	継続	0	継続 （令和3年度より高松市牟礼庵治商工会から株式会社蒼島へ本事業を移管し、実施している。）	国内外への更なる販路拡大を目指し、新たな商品開発やブラッシュアップによりブランド力を高めるとともに、地場産業振興の役割を担う企業展開を進める。	令和3年度より高松市牟礼庵治商工会から株式会社蒼島へ本事業を移管し、実施しているため、市としての取組はなし。
		・「SANUKI ReMIX」事業 玉藻公園内にある国の重要文化財「披雲閣」で、香川の職人たちと、様々なジャンルのアーティストやクリエイターが共創し、新たな高付加価値を創出するプロジェクト。玉藻公園の観光資源としての磨き上げによる高付加価値化により、旅行者の滞在時間の延長・消費の促進を図る等、「文化振興・観光振興・地域活性化」の好循環を創出することを目的としている。	観光交流課	継続	500	500	継続	500	創作品の展示・体験等によって、夜間観光や文化観光を推進するとともに、同プロジェクトのブランディング及び自走化を図る。	イベントの認知度向上、イベント来園者数の増加、イベントの自走化。	令和6年度の実行委員会の方針等が未定であるが、調整が付き次第、情報発信等の対応を検討する。
	⑤食文化の振興	・高松ブランド農産物育成支援事業 讃岐の郷土料理を伝達等を目的に開催する「たかまつ食と農のフェスタ」において、讃岐高松の郷土料理を紹介し、地域の食材を身近に感じていただける取組を行う。	農林水産課	新規	1,500	1,500	継続	1,600	讃岐の郷土料理を伝達等を目的に開催する「たかまつ食と農のフェスタ」において、讃岐高松の郷土料理を紹介し、地域の食材を身近に感じていただける取組を行う。	地域の農業が地域の食を支えるという観点から、「高松産ごじまん品」を中心とした地場産農産物に関する情報発信や地産地消・食育の推進を通して、農業者と消費者の関係強化などに努める必要がある。（高松市農業振興計画より）	引き続き「たかまつ食と農のフェスタ」を開催する。
4-(2) 多様な文化芸術等の尊重及び享受	①新しく創出される文化芸術活動の支援	・新しい表現による文化芸術活動の支援 現代サーカス等の出前公演を行うほか、新しい表現によるアート展開の調査・支援に取り組む。	文化芸術振興課	継続	—	0	継続	0	「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」における事例報告や意見聴取の機会等も活用しながら、情報収集を行う。	文化芸術プラットフォーム構築事業との連動も十分に意識する必要がある。	今後、支援の中核となる地域アーツカウンシルの設置に向けて、幅広い分野に精通しており、同様の事業等で実績のある方をプログラム・ディレクターとして選任する。
		・デジタル技術を活用した情報のアーカイブ化 デジタル化の潮流を踏まえ、多様な文化芸術に関する情報についてのアーカイブ化を図る。	文化財課	新規	359	359	継続	359	歴史資料館等で所有する写真等の映像資料を中心に、デジタル化作業を行うとともに、収蔵品管理システムに登録してアーカイブ化を進める。	保管されている写真には個人情報等が含まれる場合もあるため、アーカイブ化した写真等の公開の可否を適切に判断する必要がある。	公開可否を判断するルールを検討し、適切な公開設定を行うように努める。
		・デジタル技術を活用した情報のアーカイブ化 デジタル化の潮流を踏まえ、多様な文化芸術に関する情報についてのアーカイブ化を図る。	美術館美術課	新規	0	0	継続	0	・デジタル技術を活用した情報のアーカイブ化 デジタル化の潮流を踏まえ、多様な文化芸術に関する情報についてのアーカイブ化の充実を図る。	なし	なし
	②多様な文化芸術活動の支援	・多様な文化芸術活動の支援 漫画やアニメーション、メディアアートなど多様な文化芸術の支援に向けた調査を行う。	文化芸術振興課	新規	—	—	新規	0	「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」における意見聴取の機会等も活用しながら、情報収集を行う。	文化芸術プラットフォーム構築事業との連動も十分に意識する必要がある。	今後、支援の中核となる地域アーツカウンシルの設置に向けて、幅広い分野に精通しており、同様の事業等で実績のある方をプログラム・ディレクターとして選任する。
		・コンテンツリズム推進事業 地元観光協会と連携の上で、ゲーム作品、男木島灯台、灯台資料館、キャンプ場等の地域資源をブラッシュアップしながら活用することで、地域が継続的に稼ぎつつ、広く市内全体にも経済効果を波及させる仕組みを構築する。	観光交流課	新規	0	0	新規	19,631	聖地巡礼マップ等作成 音声ガイドアプリ整備 男木島灯台資料館等施設改修実施設計等	地域との連携により島内や広く市内全体に経済効果を波及させる必要がある。	地元観光協会等との連携